

あしたも えがおで

～#もっと!まつよう～ まつよう校長だより 2024.10.1 NO.5



2学期が始まり一月が経ちました。しかし、未だに真夏日記録更新のニュースが続きます。9月は、宿泊学習や修学旅行、特別支援学校スポーツ大会など、炎天下での活動を心配しましたが、熱中症対策を徹底し、無事終えることができました。このような中でも、子どもたちは、芋ほりや稲刈りなどの収穫体験をとおして、実りの秋を実感しています。

先日、小学部宿泊学習の出発式で、小学部主事が「今日、明日の2日間の体験で、みんながちょっと大人になって帰ってくることを楽しみに待っています。」と話していました。まさに、友だちと一緒に体験し、試行錯誤しながら、協力し合って成し遂げる共有体験は、子どもたちの内面の成長には欠かせません。そのためには、今年度の重点目標としている子どもを主語にした学びが重要だと考えます。体験した後の「振り返り」では、何をしたか(do)だけでなく、何を考えていたのか(think)、どう感じたのか(feel)、今度はどんなことをしたいか(want)等、子ども一人一人の思いを言語化し表現できる学習のあしあとを作ってほしいと思います。

祝 全国特別支援学校フットサル大会出場

「第3回全国特別支援学校フットサル大会 中・四国大会」が岡山県で開催され、松江養護学校チームは見事に優勝、全国大会出場を果たしました。全国大会には1回目から連続して出場していますので、「常連校」です。乃木校舎と川津校舎で合同チームを組んでおり、十分な練習時間もとれない中、試合に臨みました。予選リーグでも上手にかみあわず、失敗することもあったようですが、その都度、選手同士で声をかけあい、話し合って作戦を練っていたと聞きました。生徒たちの大きな成長を感じられた中・四国大会でした。全国大会は、11月1、2、3日、愛知県で開催されます。優勝を目指し、「チームまつよう」らしいパフォーマンスを見せてくれることでしょう。



「まつよう子どもサミット」が始まりました！



始業式で、「校長先生が2学期にやってみたいことは子どもサミットです。」と話しました。「もっともっといい松江養護学校をつくるために、みんなの意見を聴かせてください。」と呼びかけたところ、「いいですよ。」と即答でした。早速、校長室で子どもたちのとの意見交換会が始まりました。

初日は、小学部5年生3名が校長室に来てくれました。「今、困っていることはないですか？」の質問に、「校庭の奥は、蛇が出るから行っちゃダメと先生が言うけど、あの草むらの中で遊んでみたい。」と発表してくれました。子どもたちの意見に、「なるほど、子ども目線とはこういうことか・・・」と気づかされます。これからどんな子どもたちの思いや願いが聴けるのか、とても楽しみにしています。